MEMO

AudioComm®

取扱説明書

デジタルボイスレコーダー

EVR-L300K
07-5629

このたびは、AudioComm®
デジタルボイスレコーダーをお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。**"この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にご使用ください"** また、お読みになった後も、ご使用時にいつでも見られるよう大切に保存してください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室** へ
●フリーダイヤル（無料） ●携帯電話・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735
電話受付 平日 9：00～17：30 土曜 9：00～17：00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は **修理ご相談センター**へ
電話受付 048-992-3970 平日 9：00～17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-5629A

もくじ

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって３段階に表示しています。

この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

⚠ 警告

分解禁止	●**本体を分解、改造しないでください。** 火災・感電の原因となります。また本機の故障の原因となります。
禁止	●**幼児やペットなどに誤って触らせないでください。** 火災・感電・大けがの原因となります。
水かけ禁止	●**水をかけたり、浴室など湿度の高い場所に放置しないでください。** 火災・感電の原因となります。また本機の故障の原因となります。
禁止	●**内部に異物を入れないでください。** 火災・感電の原因となります。また本機の故障の原因となります。
禁止	●**車両(自転車、バイク、車など)の運転をしながら操作しないでください。** 交通事故などの原因となります。

⚠ 注意

禁止	●**振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かないでください。** 落下してけがをする可能性があります。また、本機の破損・故障の原因となります。
禁止	●**暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かないでください。** 火災・感電の原因となります。また、本機の破損・故障の原因となります。
禁止	●**直射日光の当たる場所や自動車の中など高温になる場所、ほこりの多い場所に放置しないでください。** 本機の故障の原因となります。
禁止	●**本機をシンナーやベンジンなどで拭かないでください。** 変形・変色の原因となります。
	●**使用中に異常な音や煙、熱、臭いを感じたら、速やかに電池を抜いてください。** けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜き、お買い上げ店または弊社修理ご相談センターに修理をご依頼ください。
	●**航空機内や病院などで使用に制限のある場所では、ご使用を避けるか、その場所の指示に従ってください。**

データ消失に関するご注意

メモリーへの記録内容は誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えたりすることがあります。大切な記録内容は、パソコンのハードディスクや CD、DVD などのメディアに、バックアップを保存されることをおすすめします。
本製品の故障、弊社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた、データ消失による損害および逸失利益などに関して、弊社は一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

乾電池を安全にお使いいただくために

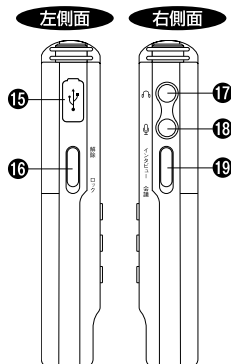
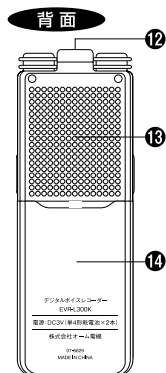
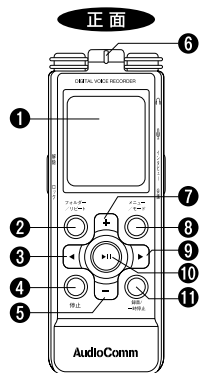
乾電池の液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠ 警告	●火中への投入、加熱、分解をしない ●ショートさせない ●新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池（マンガンとアルカリ）を混ぜて使わない
⚠ 注意	●⊕⊖の表示通りに入れる ●指定以外の乾電池を入れない ●使い切った乾電池はすぐに取り出す ●しばらく使わない時は乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一、もれた液が目に入った時は、失明の原因となる恐れがありますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●使用済みの電池を廃棄するとき、自治体の条例などで決まりがある場合には、それに従って廃棄してください。

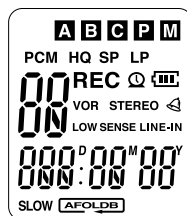
著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

各部の名称

正 面　背 面

左側面　右側面

❶ディスプレイ
❷フォルダー／リピートボタン
❸サーチ(◀)ボタン
❹停止ボタン
❺音量(−)ボタン
❻録音ランプ
❼音量(+)ボタン
❽メニュー／モードボタン
❾サーチ(▶)ボタン
❿再生／一時停止／電源ボタン
⓫録音／一時停止ボタン
⓬録音マイク
⓭スピーカー
⓮電池カバー
⓯USB スロット
⓰ホールドスイッチ
⓱イヤホンジャック
⓲マイクジャック／ LINE-IN
⓳録音モードスイッチ(P17 参照)

ディスプレイの表示について

A B C P M (モード表示) →P11 参照

音声モード…A･B･Cフォルダー
PCMモード…Pフォルダー
音楽モード…Mフォルダー

PCM HQ SP LP (録音音質表示) →P11~12 参照

PCM…リニア PCM
HQ…高音質
SP…標準音質
LP…低音質

88 (ファイル番号表示)

･再生／録音時はファイル番号を表示
･メニュー設定時は「y」(yes)、「n」(no) などを表示

REC (録音表示) →P17~18 参照

録音中に表示

(タイマー表示) →P26~27 参照

タイマー設定時に表示

(電池残量表示) →P7 参照

(充分) → (ゼロ)

VOR (音声感知自動録音表示) →P16 参照

VOR 設定時に表示

STEREO (ステレオ表示)

PCM モードでステレオ音声を再生時に表示

(アラーム表示) →P28~29 参照

アラーム設定時に表示

LOW SENSE (低感度設定表示) →P13 参照

マイク感度設定：「低」時に表示

LINE-IN (外部接続表示) →P14 参照

録音入力設定：「L」時に表示

888:88 88 (時刻／再生・録音経過時間表示)

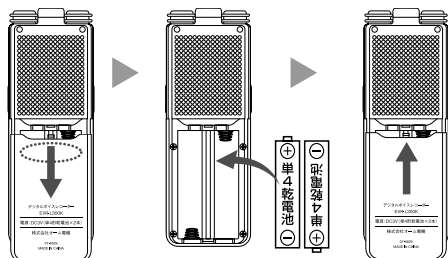
･再生／録音時は経過時間を表示
･メニュー設定時は選択項目を表示

SLOW (スロー再生表示) →P20 参照

スロー再生設定時に表示

AFOLDB (リピート再生表示) →P21 参照

1回リピート
FOLD フォルダーリピート
A B セクションリピート

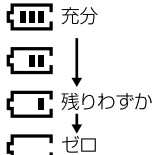
電池を入れる

1.電源がオフになっていることを確かめます。
2.背面にある電池カバー上部を押しながら下にスライドさせて開けます。
3.単4乾電池(別売)2本を⊕と⊖の向きに注意しながら図の通り正しく入れます(コイルバネがあるほうが⊖側です)。
4.電池カバーを開けたときと逆の順序で閉めます。パチンと音がするまでしっかり閉めてください。

ヒント 電池交換の目安

ディスプレイに表示される電池残量が残りわずかになったら早めに新しい電池と交換してください。特に大切な音声を録音する時は、途中での電池切れを防ぐうえでも、新しい乾電池の使用をおすすめします。
また、電源オフの状態でもメモリ保持のため電池は消費されます。長期間ご使用にならない時は、電池を取り外すことをお勧めします。

充分

残りわずか

ゼロ

！ご注意

●アルカリ乾電池をご使用ください

充電式電池などでは、本機が十分な性能を出せない場合があります。

●電池交換時は必ず電源をオフにしてください

新しい乾電池へ交換する時は、必ず電源をオフにしてから行ってください。電源を入れたまま乾電池を取り外すと、故障したり、録音ファイルが消失したりすることがあります。

●新しい電池に交換時は設定がクリアされます

新しい電池に交換した際は、時計等の設定がクリアされますので、再設定が必要です。

！ご注意 乾電池についての安全上のご注意

⚠ 危険

乾電池が液もれした時

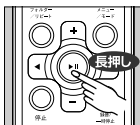
液が本体内部に残ることがあるため、弊社修理ご相談センターにご相談ください。液が目に入った時は、失明の原因となる恐れがありますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。

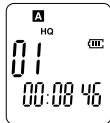
・機器の表示に合わせて⊕と⊖を正しく入れる。
・充電しない。
・火の中に入れない。
・ショートさせたり、分解、加熱しない。
・火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
・水などで濡らさない。風呂場などの多湿な場所で使わない。

・使い切った電池は取り外す。長時間使用しない時も取り外す。
・新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。

使用済み電池を廃棄する時

使用済み電池に関して、自治体の条例などで決まりがある場合は、それに従って廃棄してください。

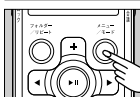
電源のオン・オフ

電源の入れ方

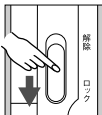
電源を入れる時は再生／一時停止／電源ボタンを約2秒押す。

スタンバイ画面（例）

電源の切り方

電源を切る時は、再生／一時停止／電源ボタンを約3秒間押す。

※何も操作していない状態が約3分続くと自動的に電源が切れます。

モードの切換

メニュー／モードボタンを押すと、押すたびに「音声モード」と「音楽モード」が切り換わります。

ホールド機能

ホールドスイッチを「ロック」側にするとボタン操作ができなくなります。録音時や鞄の中に入れた時など、誤操作を防ぐのに有効です。「解除」側にするとボタン操作が可能になります。

メニューの設定

停止状態でメニュー／モードボタンを1秒以上長押しすると、各メニューの設定ができます。メニュー設定を終了する時は、メニュー／モードボタンを3秒以上長押しするか、サーチボタン（◀）を押してください。

※各メニュー設定は、ABCフォルダーに対し設定することができます。Pフォルダー（PCM録音）には反映されません。

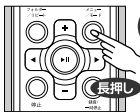
※Pフォルダー選択時は、ファイル消去設定のみとなります（P25参照）。

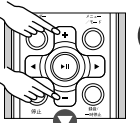
ヒント

各メニュー設定時、無操作状態（項目時約10秒／設定時約60秒）が続いた場合、自動的にスタンバイ画面に戻ります。

日付・時刻を設定する

ご使用前に必ず時刻を設定してください。

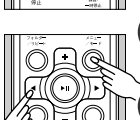
録音データ保存の際、設定された時間が記録されます。

1 停止状態でメニュー／モードボタンを1秒以上押す

メニュー設定の最初の画面「ERASE」が表示されます。

2 音量ボタン（＋または－）を数回押して「CLOCk」を表示させ、メニュー／モードボタンを短く押す

日付設定画面になり、「日」の数字が点滅します。

3 音量ボタン（＋または－）を押して「日」の数字を選び、メニュー／モードボタンを短く押す

音量ボタンを長押しすると、連続して数字を進めることができます。

メニュー／モードボタンを押すと次の設定項目が点滅します。

4 ステップ3の操作を繰り返して、「月」「年」「時」「分」を設定する

5 メニュー／モードボタンを3秒以上長押しするか、サーチボタン（◀）を押してスタンバイ画面に戻る

ヒント

上記の設定後、停止中にフォルダー／リピートボタンを長押しすると、押している間だけ現在の時刻が表示されます。

録音【事前に確認しておきたい設定項目】

本機では、録音に関して様々な設定ができます。実際に録音を始める前にご確認いただき、必要に応じて設定してください。

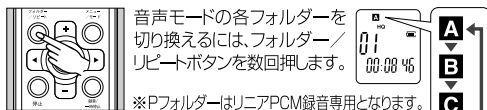
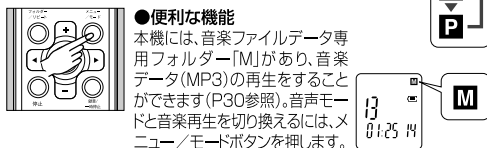
設定できる項目	●フォルダー設定(P11)	●録音音質設定(P11)
※ABCフォルダー時設定可能	●マイク感度設定(P13)	●録音入力設定(P14)
	●分割録音設定(P15)	●VOR録音設定(P16)

※PCM録音(Pフォルダー)設定時には、反映されません。

フォルダー設定

本機には、録音用に4つのフォルダー「A ~ C、P」があります。本機で録音されるデータは、すべていずれかのフォルダーへ格納でき、目的に応じて使い分けることができます(PCMはPフォルダーのみ)。

音声モードの各フォルダーを切り換えるには、フォルダー／リピートボタンを数回押します。

A ▼ B ▼ C ▼ P

※Pフォルダーはリニア PCM録音専用となります。

●便利な機能

本機には、音楽ファイルデータ専用フォルダー「M」があり、音楽データ(MP3)の再生をすることができます(P30参照)。音声モードと音楽再生を切り換えるには、メニュー／モードボタンを押します。

M

ヒント

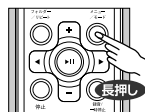
録音音質の設定等により変化しますが、各フォルダーの容量は最大99ファイル(合計396ファイル)です。それを超えると画面に「FULL」と表示されますので、ファイルを他のメディア(コンピュータなど)に移し、空き容量を確保してから録音してください。

録音音質設定

A B C フォルダー時に設定可能

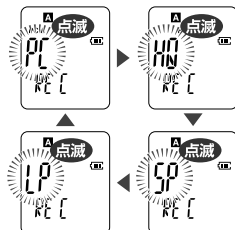
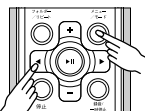
本機では4つの録音音質から選ぶことができます。

表 示	音 質	最大録音可能時間(目安)	フォーマット
PC	リニアPCM	22時間 ／384kbps	WAV
HQ	高音質	66時間 ／128kbps	MP3
SP	標準音質	130時間 ／ 64kbps	MP3
LP	低音質	260時間 ／ 32kbps	MP3

※PC設定時は自動的に「Pフォルダー」に録音ファイルが保存されます。
※最適な結果を得るためにも、事前にテストしてから録音することをお勧めします。
※録音時間によっては電池が切れる可能性があります。長時間録音の際は、途中で電池の交換が必要な場合があります。

1 停止状態でメニュー／モードボタンを1秒以上押す

「ERASE」が表示されます。

2 音量ボタン(+または-)を数回押して「REC」を表示させ、メニュー／モードボタンを短く押す

3 音量ボタン(+または-)を押して好みの録音音質を選び、メニュー／モードボタンを短く押す

4つの録音音質から選びます。

4 メニュー／モードボタンを3秒以上長押しするか、サーチボタン(◀)を押してスタンバイ画面に戻る

ヒント

「PC(PCM)」設定時は、どのフォルダーが選ばれていても常に「Pフォルダー」にファイルが保存されます。

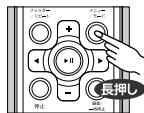
!ご注意 設定後にスタンバイ画面に戻っても、表示は選択表示されているファイルの音質を示しているため、新しく設定した内容は反映されません。録音開始後に表示されます。

マイク感度設定

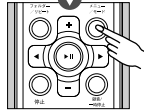
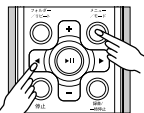
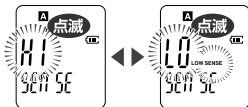
A B C フォルダー時に設定可能

音源が近くてハッキリした音の場合、録音すると音が歪む可能性があります。このような時はマイク感度を「LO」に設定して録音してみてください。

表示	マイク感度
HI	高い
LO	低い

※録音入力設定（P14 参照）が「V」の時のみ有効です。
※最適な結果を得るためにも事前にテストしてから録音することをお勧めします。

1 停止状態でメニュー／モードボタンを1秒以上押す

「ERASE」が表示されます。

2 音量ボタン（＋またはー）を数回押して「SEnSE」を表示させ、メニュー／モードボタンを短く押す

3 音量ボタン（＋またはー）を押してマイク感度を選び、メニュー／モードボタンを短く押す

4 メニュー／モードボタンを3秒以上長押しするか、サーチボタン(◀)を押してスタンバイ画面に戻る

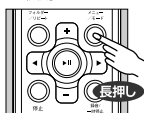
！ご注意 「LO」を設定後にスタンバイ画面に戻ると「LOW SENSE」と表示されます。「HI」の場合は何も表示されません。

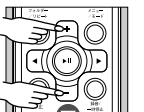
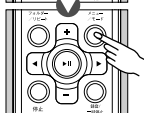
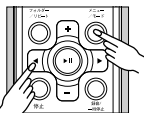
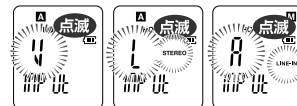
録音入力設定

A B C フォルダー時に設定可能

本機では様々な方法で録音することができます。

録音機器	メニューでの設定	接続などの有無
内蔵マイク	V	接続なし
外部マイク	L	外部マイクを接続※
外部機器	A	外部機器とケーブル接続

※内蔵マイクはモノラルとなります。ステレオ録音をするには市販のステレオマイクをご使用ください。
※外部マイクや外部機器の接続にはプラグ径がφ3.5mmタイプのものをご使用ください。エレクトレットコンデンサータイプがご使用になれます。

1 停止状態でメニュー／モードボタンを1秒以上押す

「ERASE」が表示されます。

2 音量ボタン（＋またはー）を数回押して「InPUt」を表示させ、メニュー／モードボタンを短く押す

3 音量ボタン(＋またはー)を押して「V」、「L(STEREO)」または「A(LINE-IN)」を選び、メニュー／モードボタンを短く押す

4 メニュー／モードボタンを3秒以上長押しするか、サーチボタン(◀)を押してスタンバイ画面に戻る

！ご注意 「A」を設定後にスタンバイ画面に戻ると「LINE-IN」と表示されます。「V ／ L」の場合は何も表示されません。

分割録音設定

A B C フォルダー時に設定可能

分割録音を設定すると、60分ごとに新しいファイルを自動作成しながら分割して録音します。
※録音入力設定(P14 参照)が「V」の時のみ有効です。

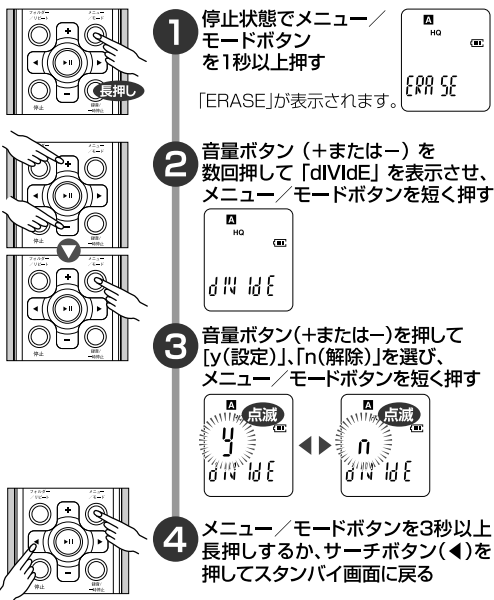
1 停止状態でメニュー／モードボタンを1秒以上押す

「ERASE」が表示されます。

2 音量ボタン（＋または－）を数回押して「dIVIdE」を表示させ、メニュー／モードボタンを短く押す

3 音量ボタン(＋または－)を押して[y(設定)」、「n(解除)」を選び、メニュー／モードボタンを短く押す

4 メニュー／モードボタンを3秒以上長押しするか、サーチボタン(◀)を押してスタンバイ画面に戻る

！ご注意
- 分割録音設定は、ステップ3で最初に表示されたほう(「y」または「n」)が現在の設定です。
- PCM録音時には反映されません。

VOR録音設定

A B C フォルダー時に設定可能

VORは、録音中に一定レベル以上の音声が感知できない時は録音を一時中断し、一定レベル以上の音声を感知すると録音を再開する機能です。
※録音入力設定(P14 参照)が「V」の時のみ有効です。

1 停止状態でメニュー／モードボタンを1秒以上押す

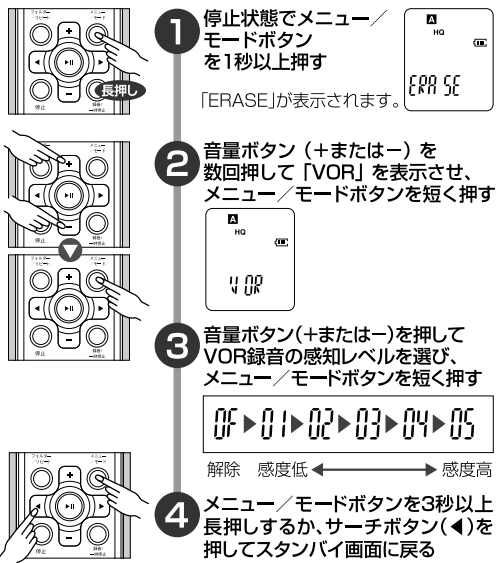
「ERASE」が表示されます。

2 音量ボタン（＋または－）を数回押して「VOR」を表示させ、メニュー／モードボタンを短く押す

3 音量ボタン(＋または－)を押してVOR録音の感知レベルを選び、メニュー／モードボタンを短く押す

OF ▶ 01 ▶ 02 ▶ 03 ▶ 04 ▶ 05

解除　感度低 ←→ 感度高

4 メニュー／モードボタンを3秒以上長押しするか、サーチボタン(◀)を押してスタンバイ画面に戻る

！ご注意
- 大切な音声をする時は、思わぬ録音もれを防ぐためにも、VOR機能を解除して録音してください。
- マイク感度設定(P13参照)が「HI」の時は、周囲からの音で録音状態が継続されることがあります。頻繁に録音状態になる場合には、「LO」に設定してください。
- PCM録音時には反映されません。

録音【録音の基本操作】

内蔵マイクによる録音

1 P11～16を参考にしながら、録音に関する各種設定を確認する

●フォルダー設定(P11)	●録音音質設定(P11)
●マイク感度設定(P13)	●録音入力設定(P14)
●分割録音設定(P15)	●VOR録音設定(P16)

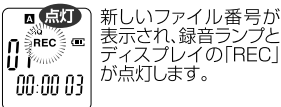
※録音もれ防止のため、事前に各設定でのテスト録音確認をおすすめします。

2 録音モードスイッチで録音モードを選ぶ

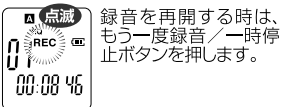
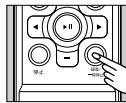
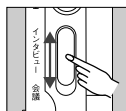
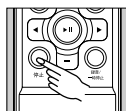
インタビュー…近い距離(約15cm以内)で会話などをよりクリアに録音する時

会議…比較的広い空間(約5m以内)で音声を録音する時

3 録音／一時停止ボタンを押す＝録音開始

新しいファイル番号が表示され、録音ランプとディスプレイの「REC」が点灯します。

録音時…点灯
録音一時停止時…点滅

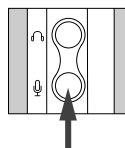
4 録音を一時停止する時は、録音／一時停止ボタンを押す

録音を再開する時は、もう一度録音／一時停止ボタンを押します。

5 停止ボタンを押す＝録音終了

ヒント

●録音直後に再生／一時停止／電源ボタンを押すと、そのファイルの再生が始まります。

！ご注意

●内蔵マイクで録音するには録音入力設定を必ず「V」に設定してください(P14参照)。
●内蔵マイクではステレオ録音できません。市販のステレオマイク等をご使用ください(P18参照)。

マイクジャックを使った録音

1 マイクジャック／LINE-INに外部マイクまたは外部機器を接続する

※外部マイクや外部機器の接続にはプラグ径がφ3.5mmタイプのものをご使用ください。
※エレクトレットコンデンサータイプがご使用になれます。また、市販ステレオマイクを使用してステレオ録音が可能です。

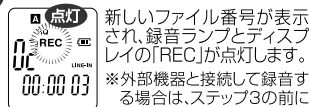
2 P11～16を参考にしながら、録音に関する各種設定を確認する

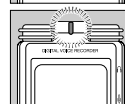
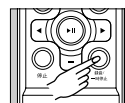
●フォルダー設定(P11)	●録音音質設定(P11)
●マイク感度設定(P13)	●録音入力設定(P14)
●分割録音設定(P15)	●VOR録音設定(P16)

※録音もれ防止のため、事前に各設定でのテスト録音確認をおすすめします。

3 録音／一時停止ボタンを押す＝録音開始

録音時…点灯
録音一時停止時…点滅

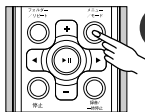
新しいファイル番号が表示され、録音ランプとディスプレイの「REC」が点灯します。

※外部機器と接続して録音する場合は、ステップ3の前に外部機器側で再生開始等の操作をしてください。
※録音の一時停止操作は、内蔵マイク録音時と同じです。

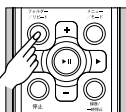
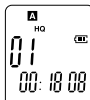
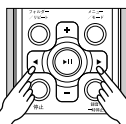
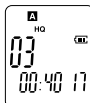
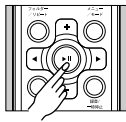
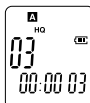
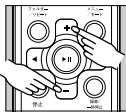
4 停止ボタンを押す＝録音終了

ヒント

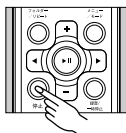
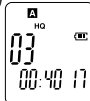
●ステレオ録音する場合は、市販ステレオマイクを使用し、録音音質設定で「PC(PCM)」または「HQ」を選んでください(P11参照)。
●録音直後に再生／一時停止／電源ボタンを押すと、そのファイルの再生が始まります。

！ご注意

●外部マイクを接続して録音する時は、録音入力設定を「L」に、外部機器(音楽プレーヤーなど)を接続して録音する時は「A」に設定してください(P14参照)。
●電池の消費を抑えるため、録音停止または一時停止中に、無操作状態が約3分間続いた場合、録音データを保存し自動的に電源オフになります。

再生【再生の基本操作】

1 メニュー／モードボタンを数回押して、再生したいファイルのあるモードを選ぶ

モード	次のステップ
A B C P	ステップ2へ
M	ステップ3へ

2 フォルダー／リピートボタンを数回押して、再生したいファイルのあるフォルダーを選ぶ

A、B、C、Pのいずれかのフォルダーを選択します。

3 サーチ（◀／▶）ボタンで再生したいファイル番号を選ぶ

時間はファイルの収録時間を表しています。

4 再生／一時停止／電源ボタンを押す＝再生開始

再生開始からの経過時間が表示されます。

5 音量ボタン(＋／−)で音量を調節する

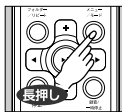
ディスプレイに音量を表示。00〜31の間で調節できます。

6 停止ボタンを押す＝再生停止

停止すると時間表示がファイルの収録時間に戻ります。

ヒント

●本機の再生音は、本体内蔵スピーカー（本体背面）またはイヤホンで聴くことができます。

●一時停止／再開

再生中に再生／一時停止／電源ボタンを押すと、再生が一時停止します。この時、時間表示はファイルの収録時間に戻りますが、もう一度再生／一時停止／電源ボタンを押すと再生が再開され、経過時間表示になります。

●スロー再生

再生中にメニュー／モードボタンを長押しすると、スロー再生モードになります。スロー再生を解除するには、もう一度「SLOW」の表示が消えるまで長押しします。

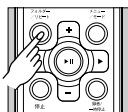
※Pフォルダー内のファイルはスロー再生はできません。

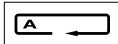
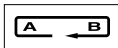
●サーチ（◀／▶）ボタンの操作

	◀ボタン	▶ボタン
停止中	ひとつ前のファイルに移動	次のファイルに移動
再生中	ひとつ前のファイルに戻って再生	次のファイルに移動して再生
再生中の長押し	再生中のファイルを早戻し	再生中のファイルを早送り

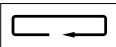
！ご注意 電池の消費を抑えるため、再生停止または一時停止中に、無操作状態が約3分間続いた場合、自動的に電源オフになります。

再生【リピート再生】

セクションリピート

再生中のファイルの任意の地点(A-B間)を繰り返し再生します。

1 再生中にリピートを開始したいところでフォルダー／リピートボタンを押す=リピート開始地点(A)

2 再生中にリピートを終了したいところでフォルダー／リピートボタンを押す=リピート終了地点(B)

※自動的にA-B間のセクションリピート再生が始まります。
※セクションリピート中にもう一度、フォルダー／リピートボタンを押すと、通常の再生モードに戻り、再生を続けます。

ファイルリピート

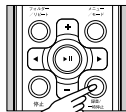
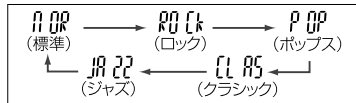
再生中にフォルダー／リピートボタンを長押しすると、そのファイルを繰り返し再生します。

※ファイルリピートを終了するには、再生中にフォルダー／リピートボタンを2回長押しします。

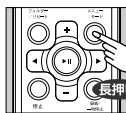
フォルダーリピート

再生中にフォルダー／リピートボタンを2回長押しすると、再生中のファイルを含むフォルダーを繰り返し再生します。

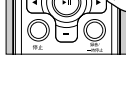
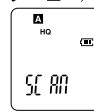
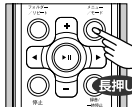
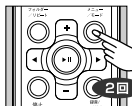
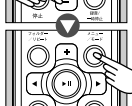
FOLD

※フォルダーリピートを終了には、再生中にフォルダー／リピートボタンを1回長押しします。

再生【イコライザー】

再生中に録音／一時停止ボタンを押すと、イコライザーがディスプレイに表示され、お好みの音質に変えることができます。

再生【スキャン再生】

スキャン再生を行うと、フォルダー内のファイルを約3秒ずつ再生します。「フォルダー設定」(P11)を参照し、スキャン再生したいフォルダーを選択した後、以下の操作をしてください。

1 停止状態でメニュー／モードボタンを1秒以上押す

「ERASE」が表示されます。

2 音量ボタン(+または−)を数回押して「SCAn」を表示させ、メニュー／モードボタンを押す

3 音量ボタン(+または−)を押して「n(解除)」を「y(設定)」に変えメニュー／モードボタンを押す

4 選んだフォルダー内の各ファイルが約3秒ずつ再生される

消去【ファイルを消去する】

A B C M フォルダー内のファイル消去は以下の通りです。
※P フォルダーのファイル消去操作はP25を参照してください。

ファイル消去

任意の１つのファイルを消去します。

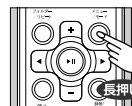
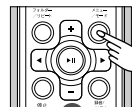
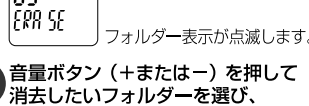
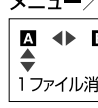
1 停止状態で消去したいファイルを選ぶ
（P19【再生の基本操作】ステップ１〜３参照）

2 メニュー／モードボタンを１秒以上押す

「ERASE」が表示されます。

3 メニュー／モードボタンをもう一度短く押すと、ファイル番号が表示されるので、確認して再度メニュー／モードボタンを押す

2回

4 音量ボタン(+または−)を押して「y(消去)」を選び、メニュー／モードボタンを短く押す＝ファイル消去

「n」(消去しない)を選ぶとステップ２に戻ります。

ヒント

途中で操作を中止するには、ディスプレイの表示がスタンバイ画面に戻るまで、サーチボタン(◀)を数回押してください。

！ご注意 消去したファイルは復旧できませんのでご注意ください。

フォルダー内ファイル一括消去

任意のフォルダーに含まれるファイルを一括消去します。

1 停止状態でメニュー／モードボタンを1秒以上押す

「ERASE」が表示されます。

2 メニュー／モードボタンを短く押した後、音量（＋）ボタンを押す

フォルダー表示が点滅します。

3 音量ボタン（＋または−）を押して消去したいフォルダーを選び、メニュー／モードボタンを押す

A ◀▶ B ◀▶ C ◀▶ M
▲▼ ▲▼
1ファイル消去(番号点滅) ◀▶ A B C M

上図のように消去するフォルダーを表示。

4 音量ボタン（＋または−）を押して「y（消去する）」を選び、メニュー／モードボタンを短く押す＝ファイル消去

「n（消去しない)」を選ぶとステップ２に戻ります。

ヒント

途中で操作を中止するには、ディスプレイの表示がスタンバイ画面に戻るまで、サーチボタン(◀)を数回押してください。

！ご注意 消去したファイルは復旧できませんのでご注意ください。

Pフォルダーのファイル消去

Pフォルダー内の任意ファイルまたは全ファイルを消去します。

1 停止状態でPフォルダーを選択し、消去したいファイルを選ぶ
（P19【再生の基本操作】ステップ1～3参照）

2 メニュー／モードボタンを1秒以上押す
「ERASE」が表示されファイル番号が点滅します。

※1つのファイルを消去する場合はステップ4へ、Pフォルダー内の前ファイルを消去する場合はステップ3へ進んでください。

3 音量ボタン（+）を押してPフォルダーマークを点滅させる

4 メニュー／モードボタンを短く押す

5 音量ボタン（+または−）を押して「y（消去する）」を選び、メニュー／モードボタンを短く押す=ファイル消去

「n（消去しない）」を選ぶとステップ2に戻ります。

ヒント

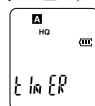
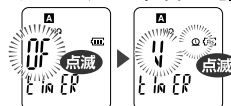
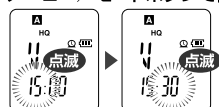
途中で操作を中止するには、ディスプレイの表示がスタンバイ画面に戻るまで、サーチボタン（◀）を数回押してください。

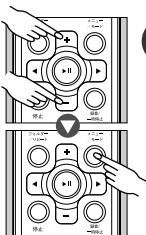
！ご注意 消去したファイルは復旧できませんのでご注意ください。

便利な機能【タイマー録音】

時刻と録音時間、保存先フォルダを指定してタイマー録音ができます。
※内蔵マイク録音のみとなります。

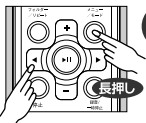
1 停止状態でメニュー／モードボタンを1秒以上押す
「ERASE」が表示されます。

2 音量ボタン（+または−）を数回押して「tImER」を表示させ、メニュー／モードボタンを短く押す

3 音量ボタン（+または−）を押して「OF」を「V」に変えメニュー／モードボタンを押す

4 タイマー録音を始める時間を音量ボタン（+または−）とメニュー／モードボタンで設定する

音量ボタン…「時」「分」の数字を選ぶ
メニュー／モードボタン…選択を確定して次へ

次ページへ続く

5 音量ボタン(+または−)を押して
録音時間を選び
モード/メニューボタンを押す

30分・60分・90分・120分・ALL
※ALLはメモリ残量・電池残量がゼロになるまで連続で録音します。

6 音量ボタン(+または−)を押して
保存先フォルダーを選び
モード/メニューボタンを押す

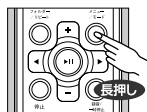
A〜Cのいずれかを選択

7 メニュー/モードボタンを1秒以上長押しするか、サーチボタン(◀)を押してスタンバイ画面に戻る

ディスプレイに時計のマークが表示されます。

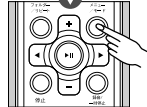
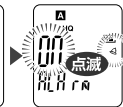
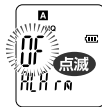
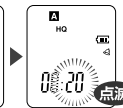
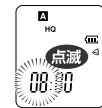
8 再生/一時停止/電源ボタンを
長押しして電源を切る

ヒント

●途中で操作を中止するには、ディスプレイの表示がスタンバイ画面に戻るまで、サーチボタン(◀)を数回押してください。
●時計マークが表示されている間は、設定時刻になるとタイマー録音が始まります。設定そのものを解除するには、ステップ3で「V」を「OF」に戻してください。

便利な機能【アラーム】

1 停止状態でメニュー/
モードボタン
を1秒以上押す

「ERASE」が表示されます。

2 音量ボタン(+または−)を
数回押して「ALArm」を表示させ、
メニュー/モードボタンを短く押す

3 音量ボタン(+または−)を押して
「OF」を「On」に変え
メニュー/モードボタンを押す

4 アラームを起動する時間を
音量ボタン(+または−)と
メニュー/モードボタンで設定する

音量ボタン…「時」「分」の数字を選ぶ
メニュー/モードボタン…選択を確定して次へ

ディスプレイに左のようなベルのマークが表示され、しばらくするとスタンバイ画面に戻ります。

次ページへ続く

5 再生／一時停止／電源ボタンを長押しして電源を切る

ヒント

●アラームが起動したときに音を止めるには、本機前面のいずれかのボタンを押してください。
●何もしない場合でもアラーム音は約60秒ほどで停止しますが、設定を解除するまで、毎日設定時刻に動作します。
●アラーム設定を解除するには、ステップ3で「On」を「OF」に変えてください(ディスプレイのベルのマークが消えます)。

！ご注意

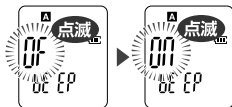
●イヤホン使用時にはアラーム音はイヤホンから聴こえ、スピーカーからはアラーム音は出ません。

便利な機能【ボタン音】

ボタン操作に応じて「ピッ」という音を出すことができます。

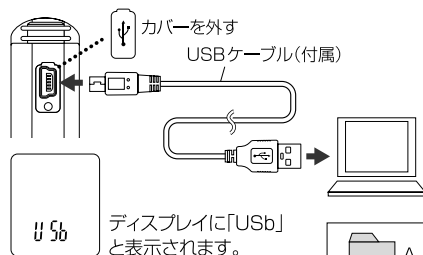
1 停止状態でメニュー／モードボタンを1秒以上押す

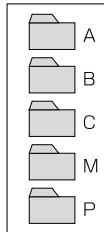
2 音量ボタン(+または−)を数回押して「bEEP」を表示させ、メニュー／モードボタンを短く押す

3 音量ボタン(+または−)を押して「OF」を「On」に変えメニュー／モードボタンを押す

4 メニュー／モードボタンを3秒以上長押しするか、サーチボタン(◀)を押してスタンバイ画面に戻る
※ボタン音の音量調節はできません。

便利な機能【パソコンと接続する】

お手持ちのパソコンと接続して、録音した音声データや音楽ファイルデータのアップロード／ダウンロードができます。

1 USBスロットのカバーを外し、USBケーブル(付属)を使って、本機とパソコンを接続する

2 パソコン画面で、音声データや音楽ファイルデータの操作をする
ファイルのコピーや貼付けの操作方法はお手持ちのパソコンに準じます。

3 データのやり取りを終了するときは、必ずパソコン側で接続を解除した後で、USBケーブルを外す

！ご注意

●本機はWindows XP/VISTA/Windows7に対応しております。
●Windows XPより前のバージョン、アップグレードバージョン、デュアル、お客様自作PC、Macintoshなどの場合は、正常に動作しない場合があります。
●本機内のデータファイルを消去する際は、パソコンで操作を行わず、必ず本機での操作で消去してください。機器の故障やデータ消失などトラブルの原因となります。
●本機はファイル階層(フォルダー)管理機能がありませんので、各フォルダーへはファイルデータのみ移動してください。
●パソコンから音楽ファイルデータ等を取り込んだとき、本機では自動的に割り振られる番号で表示し、ファイル名は表示されません。

便利な機能【フォーマット(初期化)】

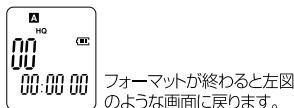
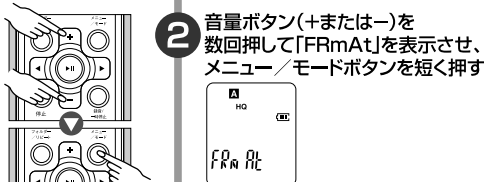
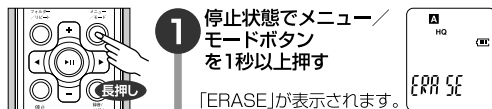
ファイルをすべて消去し本機を出荷時の状態に戻します。

1 停止状態でメニュー／モードボタンを1秒以上押す

「ERASE」が表示されます。

2 音量ボタン(+または−)を数回押して「FRmAt」を表示させ、メニュー／モードボタンを短く押す

3 音量ボタン(+または−)を押して「n」を「y」に変えメニュー／モードボタンを押す

フォーマットが終わると左図のような画面に戻ります。

ヒント

フォーマットが完了するまでに多少時間がかかることがあります。右のような表示中はそのまましばらくお待ちください。

！ご注意 フォーマット(初期化)を行うと、ファイルのほか、アラーム・タイマー設定などもすべて消去されます。復旧できませんのでご注意ください。

主な仕様

電　　源：DC3V(単4形乾電池×2本　別売)
スピーカー：口径28mm　0.5W　8Ω
USB：USB2.0
外形寸法：幅35×高さ98×奥行17.5mm(突起物含まず)
内蔵メモリ：4GB
重　　量：約40g(電池を除く)
付 属 品：ステレオイヤホン、USB接続ケーブル、取扱説明書、保証書

録音音質	ビットレート	録音フォーマット	録音時間
PCM	384kbps	WAV	22時間
HQ	128kbps	MP3	66時間
SP	64kbps	MP3	130時間
LP	32kbps	MP3	260時間

リニアPCM	サンプリング周波数48kHz
最大録音ファイル数	396ファイル(99ファイル/フォルダー)
再生方式	MP3 ／ WAV(PCM)
再生ビットレート	8～320kbps
PCインターフェース	USB2.0
対応OS	Windows XP/VISTA/Windows7
電池持続時間	録音再生：約15時間(スピーカー時) ※新品アルカリ乾電池、音量中位の場合

※Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※録音時間が電池持続時間を超える場合は、途中で録音を止めて電池交換が必要となります。
※仕様および外観は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

お手入れ方法

本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい時は、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

故障かな？と思ったら

電源が入らない
- 電池は正しく装着されていますか。
- 電池が消耗していませんか。
- ホールドスイッチが「ロック」になっていませんか。

操作できない
- ホールドスイッチが「ロック」になっていませんか。

音が出ない
- イヤホンジャックにイヤホンが差し込まれていませんか。
- 音量が最小になっていませんか。
- 録音ファイルのないフォルダーを再生しようとしていませんか。

イヤホンから音が出ない
- イヤホンは正しくイヤホンジャックに接続していますか。誤ってマイクジャックに接続していませんか。
- 音量が最小になっていませんか。

再生時に雑音が入る
- 録音時に本機を動かしたりしていませんか。
- 本機を蛍光灯や携帯電話の近くに置いていませんか。

録音した音質がよくない
- 録音モードが低音質になっていませんか。
- 本機を正しく音源に向けて録音していますか。

録音できない
- ホールドスイッチが「ロック」になっていませんか。
- メモリー残量は残っていますか。
- 録音ファイル数が 396 を超えていませんか。

内蔵マイクで録音ができない
- マイクジャックに機器が接続されていませんか。
- 録音入力設定が間違っていませんか。

マイクジャックからの音を録音できない
- 外部機器（マイク等）は本機と正しく接続されていますか。
- 録音入力設定が間違っていませんか。

ダウンロードした音楽が再生できない
- ダウンロードしたファイルの形式が MP3 以外ではありませんか。
- 本機内の別のフォルダーにダウンロードしていませんか。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。
●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
●本製品によって生じたデータの消失または破損
●本製品のために費やした時間および経費
●本製品を運用した結果もたらされた損害
●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果および利益の損失
●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常